

県総合体育大会に出場するチーム責任者（監督）への通知連絡

1. 会場に到着後、チーム代表者（監督）が受付を行い、大会参加料（3,000円）を支払う。この際、当日のコンポジションシートを6枚（切り離した状態）、チーム表示2枚を提出する。また、事前の登録から「エントリー変更（スタッフ・選手）」がある場合は、HPからダウンロードしその「届け」を受付に提出する。3日間とも同様に行うものとする。
*船橋アリーナにマイクロバスを駐車する場合は駐車料金（1,000円）を受付時に支払うこと。
2. 今大会では試合前の「練習時のサポート」として登録スタッフ2名及び登録選手12名（+マネージャー）以外に10名のフロアへの入室を許可する。それ以外の生徒はギャラリーで応援・観戦するものとする。サポート選手は当該チームの選手に限る（公式練習終了まで）。
3. 試合前の練習については、直前に試合を行うチームのみフロアでの練習を認める。第1試合のチームは各会場9:00にフロア開放を行う。
4. プロトコールは試合開始時間の11分前とする。
5. 1日目、第1試合の開始前に開始式を行う。開始式には第1試合のチームがスタッフ・選手ともにベンチ前に整列する。サブコートのチームも同様にメインアリーナにて開始式に参加する。また、2日目、3日目にコートにて表彰を行う。
6. 1日目、第1試合の補助役員（ラインジャッジ・点示・記録員・ボールリトリバー）は、各コートの第3試合のチームから7名ずつ出して行う。第2試合以降の補助役員は前試合の敗退チームから13名役員を出し、同様に行うものとする。補助役員は登録選手であるかどうかを問わない。
7. 2日目、第1試合の補助役員は第2試合から、第2試合の補助役員は第1試合のチームから6名ずつで行う。準々決勝の補助役員は、第1試合で敗退したチームの12名で行うものとする。なお、関東大会出場決定戦は第2試合の敗退チームから6名ずつで行う。
8. 3日目の補助役員は大会役員が行う。
9. 試合開始・終了時の選手の挨拶は吹笛後、アタックライン上に整列し、相手チームに拍手を送る。
10. 本大会では熱中症対策として、すべてのセットにおいてどちらかのチームが13点に達した際に「給水のためのタイムアウト（30秒間）」を実施する。
11. 試合前の練習については「コート練習20分・ネットを使った練習10分」とし、コートチェックの後にプロトコール（公式練習）を行う。
12. 試合設定時間（別紙参照）に則って試合を行う。前の試合が早く終了した場合においても、コートでの練習時間の通りとする。
13. 試合の際は、監督・コーチ・学校代表（教職員）・マネージャーは所定のマークを左胸につけること。学校代表は名札を各チームで用意する。外部指導者については大会申込時に「申請書」を提出する。
14. チームスタッフの服装はハーフパンツ（足が見える服装）・ランニングシャツは認めない（学校代表も同様）。
15. 貴重品は各チームで責任をもって管理する。ゴミは各チームで必ず持ち帰る。
16. 落とし物、忘れ物のないように留意する。忘れ物は県本部で保管し3日間連絡がない場合は処分する。
17. 施設・設備の破損には十分注意する。破損した場合は各チームで責任を持ち、県本部役員に連絡する。
18. 横断幕の設置については「避難掲示」を隠さないようにする。また、大会役員の指示に従う。
19. 出場チームにはプログラムを2冊配布する。プログラムの注文は原則、事前の注文によるものとするが、特当日の販売も行う。（注文した冊数の代金は受付にて支払うこと）。
20. 外部コーチ「承諾書」は大会当日に受付で渡す。
21. 試合前のコート練習は、審判員・大会役員の許可を受けてからコートに入ること。
22. ユニフォームは、日本中体連競技規則に則って取り扱う。靴下についても同様である。
*ユニフォームは上下ともにすべて同じ物であること。靴下はくるぶしソックスを認めない。同色とする。
23. 各チームは大会運営に協力し、大会本部の指示に従って行動すること。